

■ (r26→) r27の主な変更点です。

- 試験区分に製品安全「レーザー製品」「機械機器」「産業用電気機械」「産業用ロボット」を追加しました。
- 試験区分に環境(環境試験)「温湿度試験」「燃焼試験」「振動試験」「落下衝撃試験」「輸送試験」「梱包試験」「重量重心試験」を追加しました。
- その他・事務的な修正
 - 入力説明sht: VF100作成時の留意点について、一部記述を加筆修正しました。
 - 添付資料sht: 資料③-1、資料⑯に関する補足説明を変更しました。
 - 表紙sht: 試験所名(申請者/法人名) ⇒ 試験所名(申請者)に変更しました。
 - 基本情報入力sht: VLAC記入欄の記載項目を変更しました。
 - 試験区分入力sht: 5.1項内の不要な添文を削除しました。

これに伴い、各shtを加筆修正しました。

● 入力説明sht

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z AAABACADAEAFAGAH AI AJAKALAM ANACAPA QARAS AT AU
1 VLAC-VF100: 2026 r27 発行年月日: 2026年01月15日

- ・試験場が複数ある場合(枝番を有する場合)はVF100は枝番単位で作成します。「表紙」シートは同じ記述内容になります。
従試験場が単独で拡大申請を行う場合は、表紙は主試験場と当該従試験場を併記します。
この場合の主試験場向けVF100は「r25」以降は作成不要となっています。 (r27) 修正
- ・更新審査時は認定拡大を同時に申請できます。従前規格と拡大規格は「試験規格入力」シート内のプルダウンメニュー(A列)で区別します。
認定拡大審査が終了するより前に、更新審査を申請する場合は、更新VF100は拡大VF100の内容を含めて作成します。
- ・サーベイランスと同時期に認定拡大(MODを含む)を希望する場合は、拡大申請書をサーベイランス申請書とは別に提出して下さい。
- ・サーベイランス審査時に認定済規格と「技術的に同等規格(IDT)」を追加する場合は表紙shtの「変更審査」にもチェックを加える。(r27) 修正
- ・本シートは「試験区分入力」「試験規格入力」の各シートに記入する際の注意事項を記述しています。
規格番号の誤記は本Bookではエラー抽出できません。十分に点検して下さい。(受付できない場合があります。)
- ・さいごに「表紙」シートの申請内容チェックボタンを押して下さい。「エラー表示」シートにエラー検出があると受付できません。 (r27) 修正

(中略)

23 <留意点>

- 24 5.1. 放射妨害波(エンクロージャーポート)
放射妨害波電界強度試験(基準大地面上)の上限周波数は、ANSI C63.4-2014条件では 1 GHz にできます。
- 25 5.2. 認定拡大を単独で申請する場合は、拡大に係る試験区分は申請範囲(新規設備+継続設備)を漏れなくチェックして下さい。
例えば、試験区分「自動車・車載機器」は、試験区分「エミッション」「イミュニティ」が係わります。
- 26 5.3. 改訂r18(2021年2月15日)より下記変更を加えました。
 - 27 - 「放送受信機」専用区分を削除: 新分類(IT→MME)に対応し、エミッション、イミュニティに含むものとします。
 - 28 - 「防衛・宇宙・航空」を追加: MIL-STD-461 系をカバーします。
 - 29 - 「環境試験」を追加: 船級試験は関連する試験区分(エミッション、イミュニティ、環境試験)をチェックして下さい。
 - 30 5.4. 改訂r23(2024年2月15日)より下記様式を追加しました。
VF100に添えて提出して下さい。これは自動車・車載機器の試験方法を集約・分類しており、VF100試験区分入力shtを補完します。
 - 31 - 「VF100別紙(車載試験区分)」
 - 32 5.5. 改訂r25(2025年2月15日)より下記変更を加えました。
 - 33 - 試験区分「通信機器性能3」の申請受付を停止しました。
 - 34 - 「口13c. FCC試験所登録を希望する。」を、英文名称入力shtから試験区分入力shtへ移設しました。
 - 35 - 下記のいずれかに該当する場合にチェックして下さい。
 - 36 (1) 更新審査時にFCC試験所登録を希望する。
 - 37 (2) VLAC認定証有効期限とFCC登録認定有効期限との間に生じた空白期間を埋める。
 - 38 5.6. <注> 上記(2)の申請はサーベイランス時期を勧めます。VF100は「S+MJ」で申請できます。 (r27) 修正
 - 39 5.7. これ以外では、単独で変更申請(M)を行うか、または現地審査を伴う拡大審査(E)時に併せて申請して下さい。
申請時は、基本情報入力shtの「FCCチェックリスト(有効期限延長)」をチェックして下さい。
 - 40 5.8. 試験区分入力sht: 車載向けに「5.8. 信号/制御ポート伝導妨害波試験」等を追加。

- 41 5.9. 改訂r26(2025年5月15日)より下記変更を加えました。
 - 42 - 基本情報入力sht: 試験区分入力shtに「AV機器」「IT・NW機器」を追加。
 - 43 - 基本情報入力sht: 試験区分入力shtに「IP試験」を追加。
 - 44 - 試験区分入力shtの「路上走行車-ポータブル送信アンテナ」を6.5項から6.2項へ移しました。
- 45 5.10. 改訂r27(2026年1月15日)より下記変更を加えました。
 - 46 - 基本情報入力sht: 試験区分入力shtに、レーザー製品、機械機器、産業用電気機械、産業用ロボットを追加。
 - 47 - 基本情報入力sht: 試験区分入力shtに、温湿度試験、燃焼試験、振動試験、落下衝撃試験、輸送試験、梱包試験、重量重心試験を追加。

●添付資料sht

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
11	【ISO/IEC 17025:2017年版】														
12	新規認定・認定更新・認定拡大・認定変更														
13	新規・更新の申請時は資料①～⑩を提出して下さい。更新申請時に拡大を含む場合は資料⑪も提出して下さい。														
14	拡大・変更の申請時は関連する資料①～⑤、⑦～⑪を提出して下さい。														
15	現場試験(In-Situ)の初回認定審査は必ず拡大申請を行う。認定取得以降は更新申請に含めてよい。														
16	<input type="checkbox"/> ① 認定申請書 (VLAC-VF100) IEC 60061-1 シリーズ等の規格シリーズは申請規格を別紙で示してもよいです。 自動車・車載機器は「VF100別紙(車載試験区分)」も提出して下さい。														
17	<input type="checkbox"/> ② 認定取決め事項の同意書 (VLAC-VF108)														
18	<input type="checkbox"/> ③ マネジメントシステム文書 従来の品質マニュアルに該当するもの。どのような表題でもよい。 ISO/IEC 17025:2017の項番とマネジメントシステムの項番が異なる場合はその読替表も添える。														
19	③-1 試験所マネジメントシステムチェックシート (VF106-2): ISO/IEC 17025の要求事項に対応する貢試験所の文書番号/記録/所見を記入して下さい。														
20	認定拡大時は、マネジメントシステム文書が前回審査時から変更があった場合に提出してください。														
21	<input type="checkbox"/> ④ 公平性に関するリコールの時定トリックを排除だけ最小化した記録														
22	(r27) 追記														
23	(中略)														
24	<input type="checkbox"/> ⑩ 過去1年の規格別の試験報告書発行実績 認定シンボル有無に関わらず、VLAC認定による試験報告書の発行件数を把握するのが目的です。 (r27) 修正														
25	<input type="checkbox"/> ⑪ FCC関連資料 ⑪-1 FCC登録規格と周波数(VF100_付録2):認定範囲に対応する測定上限周波数を記入して下さい。														
26	<input type="checkbox"/> ⑪-2 FCCチェックリスト:FCCサイト登録を希望する場合は全項目確認の上、チェックを入れて提出して下さい。 (書式) 853844 Accredited Testing Laboratory Checklist														
27	<input type="checkbox"/> ⑫ 拡大・変更時に必要な資料 ラボラトリのマネジメントシステムに従って、拡大及び変更を実施した記録。 (例)要員の教育記録、試験が適切に実施できることを検証した記録、リスクアセスメント記録など 他の認定機関からVLACに移行する場合も拡大として取り扱う。資料⑪等を提出する。														
28	(中略)														
29	<input type="checkbox"/> ⑬ 前回更新審査時の観察事項に対する対応記録 認定シンボル有無に関わらず、VLAC認定による試験報告書の発行件数を把握するのが目的です。 (r27) 修正														
30	<input type="checkbox"/> ⑭ 過去1年の規格別の試験報告書発行実績														
31															

●表紙sht

試験所名(申請者/法人名) : _____

所在地 : 〒 _____ - _____

代表者の所属 : _____

氏名 : _____

● 基本情報入力sht

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z AAABACADAEAFAGAHAI AJAK AL

製品安全

- 家電製品
- マルチメディア機器
- AV機器
- IT・NW機器
- レーザー製品
- 機械機器
- 産業用電気機械
- 産業用ロボット
- 医用電気機器
- 制御機器・計測機器

製品安全に、
レーザー製品、機械機器、産業用電気機械、
産業用ロボットの4件を追加。

環境(消費電力)

- 国際エネルギースタープログラム
- 米国エネルギースタープログラム
- 消費電力

環境(環境試験)

- 船級試験
- IP試験
- 溫湿度試験
- 燃焼試験
- 振動試験
- 落下衝撃試験
- 輸送試験
- 梱包試験
- 重量重心試験

環境(環境試験)に、
温湿度試験、燃焼試験、振動試験、落下衝撃試験、
輸送試験、梱包試験、重量重心試験の7件を追加。

自動車・車載機器

- EEA(車載部品)イミュニティ
- EEA(車載部品)エミッション
- 自動車イミュニティ
- 自動車エミッション

防衛・宇宙・航空

- 防衛・宇宙・航空イミュニティ
- 防衛・宇宙・航空エミッション

設置現場/製造現場での試験に対して認定シンボル付き試験報告書を発行する。

- エミッション
- イミュニティ

（注）現場試験を申請できる対象はEMCに限定します。
（注）現場試験を認定範囲に通過する場合は必ず拡大申請書を提出します。
（注）この場合は、事前に見積申請書VF401に審査に供するテストプランを添えて下さい。

FCCチェックリスト(有効期限延長) （注）追加単位：更新審査時は加算しない、拡大審査時（または変更審査時）は加算する。

4 英文認定証： 要 不要

（注）拡大審査を書類審査のみで行う場合は備考欄に理由記述。

（注）サーベイランスは英文認定証「不要」になります。

（注）サーベイランス＆変更審査は英文認定証「要」を選択できます。

（注）審査日数は從前審査と現場試験を分けて記述。

VLAC 記入欄	受付日	受付番号	管理費 区分	基本 単位	追加 単位 9	追加 単位 18	S追加 口数	近接有無・審査日数・ 現地省<理由>etc
VLAC記入欄の記載項目を変更								
現地審査： <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	審査員数：	人	審査日数：	日	変更審査：	<input type="checkbox"/> 有		

● 試験区分入力sht

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS
1	複数の試験場がある場合はこのファイルを試験場毎に作成してください。																																												
2	試験場名	試験場管理責任者名/所属	E-mail	電話番号	事務局記入																																								
3	○名前																																												
4	○所属																																												

5 注1:下記に記載された試験区分の中で認定の対象となる区分を全てチェックしてください。

6 注2:「要付属書」の記載がある試験区分は、試験を実施する設備毎に

7 「5. 試験区分一電磁両立性 エミッション

8 「5.1. 放射妨害波 (エンクロージャーポート)

9 「放射妨害波電界強度試験

10 「基準大地面上 : (電波半無響室またはオープンサイト)

11 CISPR11関連の1GHz超試験も含む

12 「測定周波数範囲 : _____ ~ _____

13 「基準大地面上 : 車載機器試験(1m法)

14 「測定周波数範囲 : _____ ~ _____

◆車載含む 要付属書

◆車載専用 要付属書

(中略)

189 □12. 試験区分一 製品安全試験 (注: 本項を申請する場合は、事前にVLACにご相談ください。)

190 □12.1. 製品安全試験

- 家電製品
- マルチメディア機器
- AV機器
- IT・NW機器
- レーザー製品
- 機械機器
- 産業用電気機械
- 産業用ロボット
- 医用電気機器
- 制御機器・計測機器

製品安全に、
レーザー製品、機械機器、産業用電気機械、
産業用ロボットの4件を追加。

201 □13. 試験区分一 環境(消費電力／環境試験) (注: 本項を申請する場合は、事前にVLACにご相談ください。)

202 □13.1. 消費電力

- 標準消費電力量 (TEC)法
- 動作モード (OM)法
- 家庭用電気冷蔵庫及び電気冷凍庫の特性及び試験

203 □13.2. 環境試験

- 船級試験
- IP試験 (注:IP試験は「Ingress Protection Test」または「International Protection Test」の略称です。)
- 溫湿度試験
- 燃焼試験
- 振動試験
- 落下衝撃試験
- 輸送試験
- 梱包試験
- 重量重心試験

環境(環境試験)に、
温湿度試験、燃焼試験、振動試験、落下衝撃試験、
輸送試験、梱包試験、重量重心試験の7件を追加。

216 □13a. 試験区分一 自動車・車載機器

(注:5項,6項への記述に加えて、「別紙(車載試験区分)」も提出して下さい。)

217 □13b. 試験区分一 防衛・宇宙・航空

(注: 本項を申請する場合は、事前にVLACにご相談ください。)

218 □13c. FCC試験所登録を希望する。

219 FCC試験所登録では、Scope、Test Methodは共に一部除外を認めていません。

220 (例) Scope「FCC Part 15, Subpart B」のTest Method「ANSI C63.4-2014」ではカバーする試験全てを認定範囲とする必要あり。
221 その為、放送受信機試験の除外はできません。

223 備考欄(新たな試験区分を希望する場合はVLAC事務局に事前相談の上、

224 または現認定証記載の試験区分が本shtに未反映時は、この欄に記載する。)

225

226

227

● 試験規格入力sht

製品安全に、
レーザー製品、機械機器、産業用電気機械、
産業用ロボットの4件を追加。

レーザー製品

試験規格を下記記述欄にご記入ください。

認定証(和文)表記

認定証(英文)表記

規格番号	版/発行年	規格番号	版/発行年	最新

[行追加](#) <注>一旦追加した行は削除できません。

(注:上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)

機械機器

試験規格を下記記述欄にご記入ください。

認定証(和文)表記

認定証(英文)表記

規格番号	版/発行年	規格番号	版/発行年	最新

[行追加](#) <注>一旦追加した行は削除できません。

(注:上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)

産業用電気機械

試験規格を下記記述欄にご記入ください。

認定証(和文)表記

認定証(英文)表記

規格番号	版/発行年	規格番号	版/発行年	最新

[行追加](#) <注>一旦追加した行は削除できません。

(注:上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)

産業用ロボット

試験規格を下記記述欄にご記入ください。

認定証(和文)表記

認定証(英文)表記

規格番号	版/発行年	規格番号	版/発行年	最新

[行追加](#) <注>一旦追加した行は削除できません。

(注:上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)

(中略)

環境(環境試験)に、
温湿度試験、燃焼試験、振動試験、落下衝撃試験、
輸送試験、梱包試験、重量重心試験の7件を追加。

温湿度試験

試験規格を下記記述欄にご記入ください。

認定証(和文)表記

認定証(英文)表記

規格番号	版/発行年	規格番号	版/発行年	最新

[行追加](#) <注>一旦追加した行は削除できません。

(注:上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)

261 燃焼試験
262 試験規格を下記記述欄にご記入ください。
263 認定証(和文)表記

規格番号	版/発行年			

環境(環境試験)に、
温湿度試験、燃焼試験、振動試験、落下衝撃試験、
輸送試験、梱包試験、重量重心試験の7件を追加。

270 行追加 <注>一旦追加した行は削除できません。 (注: 上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)

272 振動試験

273 試験規格を下記記述欄にご記入ください。

274 認定証(和文)表記 ----- 認定証(英文)表記 -----

規格番号	版/発行年	規格番号	版/発行年	最新

281 行追加 <注>一旦追加した行は削除できません。 (注: 上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)

283 落下衝撃試験

284 試験規格を下記記述欄にご記入ください。

285 認定証(和文)表記 ----- 認定証(英文)表記 -----

規格番号	版/発行年	規格番号	版/発行年	最新

292 行追加 <注>一旦追加した行は削除できません。 (注: 上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)

294 輸送試験

295 試験規格を下記記述欄にご記入ください。

296 認定証(和文)表記 ----- 認定証(英文)表記 -----

規格番号	版/発行年	規格番号	版/発行年	最新

303 行追加 <注>一旦追加した行は削除できません。 (注: 上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)

305 梱包試験

306 試験規格を下記記述欄にご記入ください。

307 認定証(和文)表記 ----- 認定証(英文)表記 -----

規格番号	版/発行年	規格番号	版/発行年	最新

314 行追加 <注>一旦追加した行は削除できません。 (注: 上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)

316 重量重心試験

317 試験規格を下記記述欄にご記入ください。

318 認定証(和文)表記 ----- 認定証(英文)表記 -----

規格番号	版/発行年	規格番号	版/発行年	最新

325 行追加 <注>一旦追加した行は削除できません。 (注: 上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)